

感覚の多様性と環境調整

視覚や聴覚、触覚などさまざまな刺激を捉える感覚は個人によって異なっており、近年ではそのような感覚の多様性を踏まえた施設の設置や商品の開発がされるようになりました。

多様な人材を育成する大学が、感覚多様性に対しどのような支援や空間デザインができるのかについて、理解を深めながら考える機会とします。

日時 2026年3月13日 (Fri) 11:00～16:20 定員 150名

会場 大阪大学 箕面キャンパス1階大講義室&記念ホール
〒562-8678 箕面市船場東 3-5-10 (定員 150名)

ATライブラリー (箕面キャンパス1階 記念ホール 11:00～13:00)

感覚特性をサポートする支援機器 (Assistive Technology : AT) の展示を行います。

感覚特性は一人ひとり異なり、その特性に合った支援と環境調整が大切です。ATライブラリーでは、感覚過敏・感覚鈍麻などがある方が実際に使っている支援機器を展示・体験いただけます。

これらの機器を通じて、社会的な障壁がどのように軽減され、日常生活や学びが支えられているかを、ぜひ実感してみてください。



シンポジウム (箕面キャンパス1階 大講義室 受付 : 12:00 開演 : 13:00 終了 16:20)

13:00～ 挨拶

13:10～ 第一部 基調講演 「大学生と感覚多様性—心理・生理」
講師 井手 正和先生 (国立障害者リハビリテーションセンター)

14:30～ 第二部 パネルディスカッション
「感覚特性のある学生への支援を共に考える」 松島 佳苗先生 (関西医科大学)
「感覚多様性と空間デザイン」 羽野 暁先生 (九州大学)

15:50～ フロアーとの意見交換

16:20～ 閉会



井手 正和先生



松島 佳苗先生



羽野 暁先生

申込 本シンポジウムにご関心のある方は、学内外問わずご参加いただけます。
QRコード・URLよりお申し込みください。

申込フォーム : <https://forms.office.com/r/NDCsZbYGjq>

※切 2026年3月2日 (月) 17時

※本シンポジウムでは、手話通訳および文字通訳が付きます。

参加に際し、その他の調整が必要な方は、2月13日 (金) までにご連絡ください。



〈QRコード〉

